

## エジプトにおける Tokkatsu の普及に果たす Tokkatsu Officer の役割

○田中光晴  
(文部科学省)

京免徹雄  
(筑波大学)

樋口耕平  
(エジプト教育・技術教育省)

橋谷由紀  
(日本体育大学)

### 1. はじめに

エジプトでは、2016年の「エジプト・日本教育パートナーシップ」(EJEP: Egypt Japan Education Partnership) およびそれに基づく2017年からの「学びの質向上のための環境整備プロジェクト」によって、Tokkatsuをはじめとする日本型教育が開始された。日本型教育を実施する小学校として、2018年に35校で開講したエジプト日本学校(EJS: Egypt-Japan School)は2024年現在51校まで拡大し、約1万1,700人が学んでおり、Tokkatsuは導入から普及段階へとフェーズを移している。そこで大きな役割を果たしているのが、教育行政職であるTokkatsu Officer (TO)である。TOは、日本には存在しないエジプト独自の制度である。特別活動を担当する教育委員会事務局の指導主事に近い存在にもみえるが、教師出身とは限らない、Tokkatsuの指導のみを担うなど、異なる面も多い。ゆえに、その実態を示すことは、日本において特別活動の教師研修をどう進めるか、各学校の特別活動を牽引するリーダーをどう育成するかといった課題に対して、新たな視座を提供してくれるであろう。

そこで本発表では、EJS及び公立校の両方を念頭に置きながら、Tokkatsuの普及においてTOがいかなる役割を果たしており、そこにどのような課題や可能性があるのか、TOに対するインタビューに基づき明らかにする。

### 2. 方法

研究方法は、文献調査と現地調査である。文献調査では、エジプト教育省から得られた資料及びTokkatsu研修・認証制度合同委員会が作成した資料を用いる。現地調査は、2023年12月25～28日にかけてカイロ周辺のEJS3校でTO10名、教師8名、児童15名に対して、イン

タビュー調査を行った。このうち、本発表ではTO10名のデータを使用する。

### 3. TOの地位と職務

TOは各自治体の教育事務所や教員としての本職と併行しながら、Tokkatsuの指導とモニタリングのために担当校を週2回訪問している。担当校では、ガイドラインに基づき、Tokkatsuの計画や実施、振り返りまでを助言している。

### 4. 分析結果

インタビューデータを分析した結果、8つのテーマに32のカテゴリーが析出された。

分析をとおして、TOの工夫(担当する学校や所属する教師、児童の状況に合わせた指導等)、TOの専門性(教師に寄り添う態度、言語力や聞く力、柔軟性、書く力などの能力、Tokkatsuに関する専門的な知識)が明らかになった。また、自身を現場の教師にとってのロールモデルと認識していたことがわかった。

一方、TOからみたTokkatsuの普及の課題として、Tokkatsu自体の認知を浸透させていく必要性、地道な実践の積み重ね、研修機会の拡充や研修対象の拡大、さらに既存の研修システムとの連動、インセンティブの付与などが挙げられた。これらは、Tokkatsuの定着及び質保証の上では欠かせない措置であろう。

### 5. おわりに

示唆として①Tokkatsuに関する専門的な知識については、その領域の専門職団体が議論を深めていく必要がある。②TOとしての職能成長過程を跡付ける研究が求められる、ことを提示する。

謝辞:本研究は、令和5年度 文部科学省 EDU-Port ニッポン調査研究の助成を受けた。